



# 日本共産党 荒川区議会議員

# 横山幸次 区政通信

E-mail:kouji.office@gmail.com

905 2024年8月25日  
日本共産党荒川区議会議員団  
区役所控室 3802-4627  
横山事務所  
荒川区町屋5-3-5  
&fax 3895-0504

定例法律相談  
9月2日(月)  
18時～20時  
横山区議事務所  
お気軽にご相談を

## 区内産業活性化を

# 「創業するなら荒川区」をめざし 区内産業・経済活性化を考える…

製造業等企業価値向上支援事業									
	2022年度			2023年度			2024年度 (8/1現在在社決定ベース)		
	交付 件数	補助対象額 (千円)	補助金額 (千円)	交付 件数	補助対象額 (千円)	補助金額 (千円)	交付 件数	補助対象額 (千円)	補助金額 (千円)
生産性向上 (製造装置等)	36	190,042	45,855	41	235,701	46,792	17	115,368	19,809
女性活躍整備(女性用のトイレ等)	3	4,500	1,427	3	16,835	2,047	1	2,409	802
ICT導入 (ECサイト等)	3	11,897	3,828	4	40,349	2,916	4	6,503	1,764
計	42	206,439	50,910	48	282,886	51,755	22	124,280	22,375

もに、荒川区内で新たに事業展開するための創業支援の抜本的強化が必要です。そのため以下2点が重要と

**設備投資と家賃補助の拡充で一石三鳥の効果  
「ふらっとにっぽり」創業支援拠点を他産業に**

「ふらっとにっぽり」における創業支援事業				
	2021年	2022年	2023年	制度概要
ツムギバ (ワーキングスペース)	113名	302名	597名	無料で利用可能な ワーキングスペース (ふらっとにっぽり3階)
イデタチ東京 (ファッションインキュ ベーション施設)	全9室満室			ふらっとにっぽり内施設 (ファッション関連で起業 する方への支援施設)



老友でしょ

第一が設備投資の拡充、自補助（上表）商業にも同様の制度有）の拡充です。生産性向上の設備投資補助の上限100万円（特例300万円）の拡充、創業

ぱりでは、イデタチ東京  
「インキュベーション施  
設、ワーキングスペース、  
「ものづくり工房」が設  
置され、繊維・ファッショ  
ン関連を中心新たな創造  
空間が生まれました（上妻  
空間）。これを他  
産業にも広げて行  
くことができない  
でしょうか。

廃プラスチックだけです（ペットボトル、トレイはこれまで通り集団回収）。区に現状を聞くと、住民の



**町屋地域の一部で実施の廃プラ回収モデル事業：順調に実施され、今後全区展開していくようですが**

町屋の一部集合住宅と2、3、4丁目では、「燃やすごみ」と一緒に出していた廃プラスチックを木曜日に分別回収しています。当該地域のごみ収集場所には、他所にない「木 プラスティック」の標記があります（左写真）。つまり、週1回収集日が増えているのです。もちろん木曜日理解と協力もあり、順調に推移として、全区に広げたいとのこと。石油が原料のプラスチックのリサイクルは重要なですが、やはり利用を減らすことや製造メーカーの責任を明確にしていくことも今後重要な課題です。

横山幸次

## 町屋さくら復活・移動の自由保障を考える…(31) 都の福祉保健基盤等包括補助事業からみると

荒川区は、「区内に（バス停から半径300m以遠の）交通不便地域はない」と主張。その基準でも全区をみると、町屋地域の隅田川沿いをはじめ少なくない地域で該当するはずです。実はもう一つの基準、「バス停から半径200m以遠」とする規定もあります。これは、東京都の「福祉保健基盤等区市町村包括補助事業」（調査検討・車両購入・運行導入などの経費を補助）の交通空白地域の基準です。豊島区では、健常者の交通不便地域はほとんどないとしつつ「高齢者、障害者、子ども、妊娠している人など交通弱者に視点を置いた」上記の制度に基づくバス停から半径200m以上のエリアを公共交通不便地域として検討する方針で取り組んでいます。やはり「人にやさしいまち」への視点が地方自治体には必要だとあらためて感じています。

店街・個店の再生は、活用があり、人にやさしい荒川区をつくる重要な課題です。

**街（個店）の減少は深刻  
区内創業支援の強化を**



# 区立幼稚園で預かり教育(保育)を拡大 「4園廃止」方針のままでよいのか…?

区立幼稚園の通園状況					支援が必要な園児
	3歳児	4歳児	5歳児	計	
南千住第二	12	19	12	43	(17)
南千住第三	0	0	6	6	(3)
町屋	10	0	8	18	(6)
花の木	15	10	7	32	(10)
尾久	0	0	14	14	(9)
尾久第二	12	15	10	37	(15)
日暮里	27	28	22	77	(23)
東日暮里	0	0	10	10	(5)
汐入こども園 (中・短時間)	9	8	11	28	(17)
計	85	80	100	265	(105)

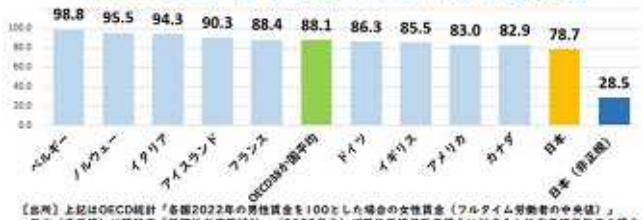
となり、町屋幼稚園  
以外は、今年度も学  
級編成が行われず、  
このままでは、3園  
が来年3月、5歳児  
の卒園をもって廃園  
となつてしまします。

支援が必要な子ども  
多くは区立幼稚園  
区立園全体の園児数は減  
少しています。しかし特別  
な支援が必要な園児数は2  
013年度30名から201  
7年度には99名となり、毎  
年100名前後のお子さん  
を区立で受け入れています。  
幼稚園全体の規模も小さ  
く、ひとり一人の子どもた

## 今週の データ 子どもを持つと女性の賃金が半減する日本

「チャイルドペナルティ」を取り上げていました。このグラフはNHKニュースでは紹介されていなかつた国際比較ですが、子どもを持たない女性の賃金を「100」とした場合、一人目の子どもを持つと賃金がほぼ半減する主要国最悪の「子育て罰」を日本女性は受けています。格差是正は緊急です。

# 主要国最悪の日本の女性差別賃金 OECD38か国平均より10.7%も低賃金



〔北野〕上記はOECD統計「各都2022年の男性賃金を100とした場合の女性賃金（フルタイム労働者のや先様）」、日本（非正規）は国税庁「民間労務実態統計」（2022年分）で男性正規労働者賃金に対する女性非正規労働者の賃金

## 子どもを持つと日本の女性賃金ほぼ半減



来年度から、区立幼稚園の「預り教育（保育：18歳まで）」を4園に拡大。現在は8園のうち日暮里幼稚園のみで実施していますが、新たに南十住第一、花の木、尾久第二の3園でも実施します。

定員は1日35人、専用室をつくり正規職員が対応します。

日暮里幼稚園では満員で抽選の日も

月額利用25人　日額利用10人で事前申請が必要です。月額利用は「保育の必要性（保護者が月12日以上1日4時間以上の就労など）」の認定を受けることが必要ですが、日暮里幼稚園では

満員とのことです。日額利用も定員を超える申込みで実施日の4分の1が抽せんになつています。

この間、預り保育や給食を実施している私立園を選択するケースが多く、区立幼稚園児が減少、保護者からも毎年、区立園の教育・保育時間の拡大や給食の実施が要望されてきました。

しかし区は要望を後送りし、区立園8園のうち4園の廃止を提案。2023年度に弁当給食を実施したものの、預り教育については「残った園で実施する」と



# 第32回区民アンケート（中間結果） 引き続きご協力をお願いします

区民アンケートは、1000を超える回答が寄せられています。そのうち集計ができた982の中間集約の一部をご紹介します。



今回住まいについておたずねしました。やはり賃貸の場合高額な家賃が大問題。さらに、老朽化や耐震化も多数です。区の支援が問われています。

前回に続きコミュニティバスへの要望は強いものがります。区として切実な声に真摯に向き合うべきです。

